

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	バレエ4	
科目基礎情報					
開設学科	ダンスパフォーマンス科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	実習
教科書/教材	適時レジュメ・資料を配布する				
担当教員情報					
担当教員	Hink・谷古宇千尋・山端茉奈美		実務経験の有無・職種	有・バレエダンサー	
学習目的					
この科目では全てのダンスの基礎となるバレエにおける基礎的な技法の修得、体作り、体の使い方、音楽への理解、文化芸術を学びます。バレエにおけるストレッチ、基礎となるポジションや動きを身に付け、特に正しい姿勢と体の使い方の習得に重点を置きます。その上でテクニック、コントロールを学びバレエを表現できる事を目的とします。					
到達目標					
この科目ではダンスにおける基礎となるバレエを学ぶことで正しい体の使い方、筋肉の使い方を理解します。また基礎技法を修得するとともに、振付による発表会を行いバレエの文化や芸術に対する造詣を深めます。					
教育方法等					
授業概要	この科目ではストレッチやバーを使った基礎動作や身体配置を中心に学びます。センターエクササイズおよび反復練習、正しい体の使い方筋肉の使い方を理解、修得を目指します。				
注意点	身体のラインが見えるレッスン着を着用し髪の毛が長い学生は結ぶ事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	50%	実技テスト・卒業公演		
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	山端 応用的なアプローチ①		山端先生 ポアントワーク(アダジオ)基本理解		
2回	山端 応用的なアプローチ②		山端先生 ポアントワーク(アダジオ)表現の研究と演習		
3回	山端 応用的なアプローチ③		山端先生 ポアントワーク(ターン)基本理解		
4回	Hink 応用的なアプローチ①		Hink先生 ポアントワーク(ターン)表現の研究と演習		
5回	Hink 応用的なアプローチ②		Hink先生 ポアントワーク(アレグレ)基本理解		
6回	Hink 応用的なアプローチ③		Hink先生 ポアントワーク(アレグレ)表現の研究と演習		
7回	谷古宇 応用的なアプローチ①		谷古宇先生 ポアントワーク(アンシュヌマン)基本理解		
8回	谷古宇 応用的なアプローチ②		谷古宇先生 ポアントワーク(アンシュヌマン)表現の研究と演習		
9回	谷古宇 応用的なアプローチ③		谷古宇先生 音楽的表現についての演習		
10回	卒業公演 振付①		実習班ごとに公演用の振付を習得する 前半パートの理解		
11回	卒業公演 振付②		実習班ごとに公演用の振付を習得する 中盤パートの理解		
12回	卒業公演 振付③		実習班ごとに公演用の振付を習得する 後半パートと理解		
13回	卒業公演 振付④		実習班ごとに公演用のフォーメーションを理解する		
14回	卒業公演 振付⑤		実習班ごとに公演用のフォーメーションを習得し表現する		
15回	レベルチェック		振付①～⑤までの精度をあげ演目全体の構成、世界観を理解する		